

特集 I

特集「ケイ素(珪素)」

健康・美容分野から高い注目

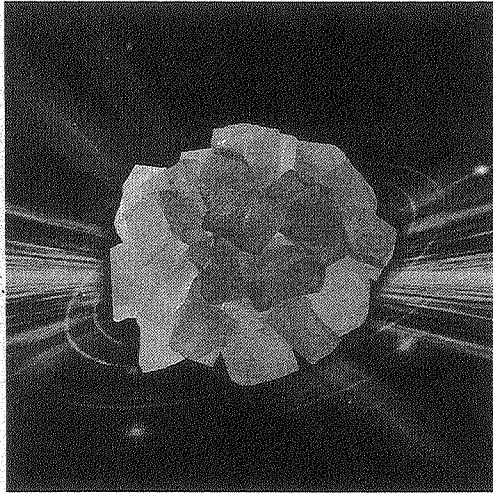
サプリ、飲料、化粧品、温熱商品など採用広がる

ケイ素(珪素)への注目が高まっている。サプリメント、飲料、化粧品、温熱商品などさまざまな分野で採用が増え、健康・美容分野を中心に認知も拡大している。

海外からの引き合いも増加

ケイ素の不足が疾病リスクを高める

シリコン(元素記号Si)、シリカとも呼ばれるケイ素は、体内に存在する微量ミネラルの一つ。骨の成長維持には欠かせないといわれるケイ素が不足することで、がんや動脈硬化のリスクが高まるほか、皮膚のたるみ、爪割れ、脱毛などの症状にもつながるとされる。



国内では水晶抽出ケイ素がトップシェア

健康市場でもケイ素配合製品が増えている。その多くが、北海道産の石英(水晶)から特殊な抽出法を用いて製造した水溶性ケイ素原料「ウモ」

品の上市も相次いでいる。が、毛髪ケア、ネイルケアといった健康市場で需要が高まっているものも少なくないといわれる。ケイ素は大きな注目を集めようとしている。

トピック

「未病対策としてケイ素は有力」

日本珪素医科学学会第24回 学術発表会

「日本珪素医科学学会第24回学術発表会」が9月27日都内で開催され、約1300人が参加した。同会の細井睦敬理事長(クリニック細井皮膚科院長)は、「今までの学会で一番の反響があり嬉しい。これから再生医療や自己治癒力、未病対策としてケイ素は有力なものと考えている。学会からケイ素を広めながら、日常的に自分自身で病気を治す21世紀の在り方を求めていきたい」とあいさつした。

各社動向

水溶性ケイ素「ウモ」の普及にまい進

APAコーポレーション

水溶性ケイ素「ウモ」(u mo)の製造元であるAPAコーポレーション(愛知県安城市、2005年設立)は、食品・飲料・化粧品などさまざまなアイテムで用いられている「ウモ濃縮液」(珪素含有量8000〜1万2000ppm)、「打錠やカプセル」など健康向けの「ウモ微粒ケイ素パウダー」(珪素含有量10%以上)のほか、農業・畜産用「ウモ超濃縮液」、浄水器やシャワーヘッドのフィルター向けの「珪素抽出セラミックス」などさまざまな形状をそろえている。

同素材は、北海道産の石英(水晶)から独自製法(特許取得済)で抽出した水溶性の食用ケイ素。①静菌性、浸透性、洗浄力、賦活性、消炎性などに優れていること、②非結晶、完全に水に溶解し、固体、粉末液状にもなるという特徴を持つ。04年の上市以降、医療、健康、美容などさまざまな分野で用いられ、原料サプライヤーや「ウモ」配合の未病商品

素医療研究会において、多くの研究者・学識者と連携し、同素材の機能性立証に向けたさまざまな研究を実施している。こうした安全性や有効性に関する研究データ、国産素材品質などが支持され、国内市場に加え、最近では欧米や中国といった海外からの問い合わせも増えているという。

「モイストクリスタル」など

ケイ素に関節対応や美容素材を配合

滋賀薬品

滋賀薬品(愛知県大府市、2006年4月6日設立)は、水溶性ケイ素「ウモ」の販売をはじめ、数種類の素材を配合したサプリメントや飲料を販売している。



関節対応・美容を訴求するサプリメント「モイストクリスタル」(写真)は、年齢とともに減少していくヒアルロン酸、コラーゲン、コンドロイチンに加え、発酵グルコサミンをケイ素によってキープする。

病状症状はさまざまあるが、今後、ケイ素は必ず必要な素材になると感じていると担当者は語っている。